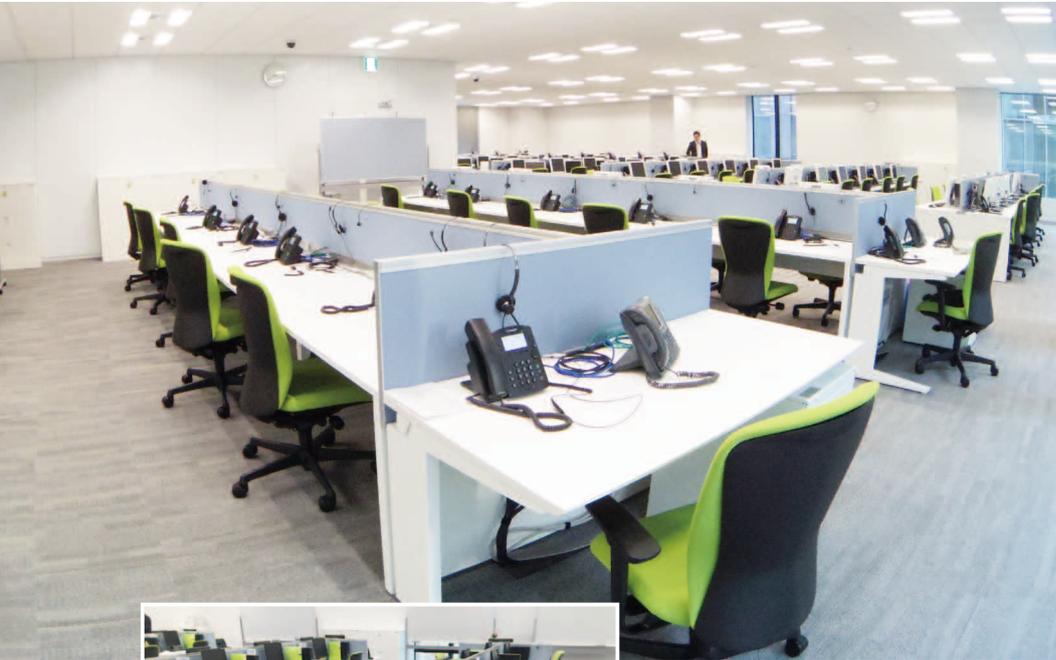




居心地と生産性の両立を目指した コミュニケーション重視のレイアウト



緊急の増席にも対応できるよう、ユニバーサルポートを活用しフリーレイアウトとしている



ファニチャーを多様化し、対面型を増やすことでコミュニケーション重視型のリフレッシュルームを目指した

センタープロフィール

- センター名称：新宿フロントプレイセンター
- 所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-33-1
- 延床面積：3,924.2㎡
- 設備構成：オペレーションエリア × 7、応接室、会議室 × 2、研修室 × 2、休憩室、救護室 × 2、倉庫、サーバールーム（メイン、サブ × 7）
- ブース数：オペレータ750 SV75 その他20
- 業種・業務：公共系企業様 受付・事務センター
- 運用開始：2015年12月

受賞コメント

栄誉ある賞をいただき、誠にありがとうございました。「働きやすい職場づくり」を目指し、改善工夫を積極的に導入して構築を行いました。結果社内での評判は上々のものとなり、空きスペースもない状態となりました。ぜひ次回もチャレンジさせていただき上位入賞を目指したいと思っております。

講評

業務内容に応じて柔軟に執務環境（面積や対応人数）を変化させることのできる拠点構築計画の立案に興味をもった。ワーカーの、1名から大人数でといったさまざまなリフレッシュ行為に即した、多様なロケーションを設定して癒やしの環境を提供しているところが素晴らしい。柔軟な執務環境と、リフレッシュ環境のバランスが取れている。